

# D I A M エマージング債券ファンド

## <愛称：ライジングネクスト>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M エマージング債券ファンド」は、2019年1月15日に第129期の決算を行いました。

当ファンドは、外国籍投資信託を通じてエマージング諸国（新興国）の現地通貨建てソブリン債券等に実質的に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年7月13日～2019年1月15日

第124期	決算日：2018年8月13日	
第125期	決算日：2018年9月12日	
第126期	決算日：2018年10月12日	
第127期	決算日：2018年11月12日	
第128期	決算日：2018年12月12日	
第129期	決算日：2019年1月15日	
第129期末 (2019年1月15日)	基準価額	3,572円
	純資産総額	1,348百万円
第124期～ 第129期	騰落率	△0.4%
	分配金合計	225円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

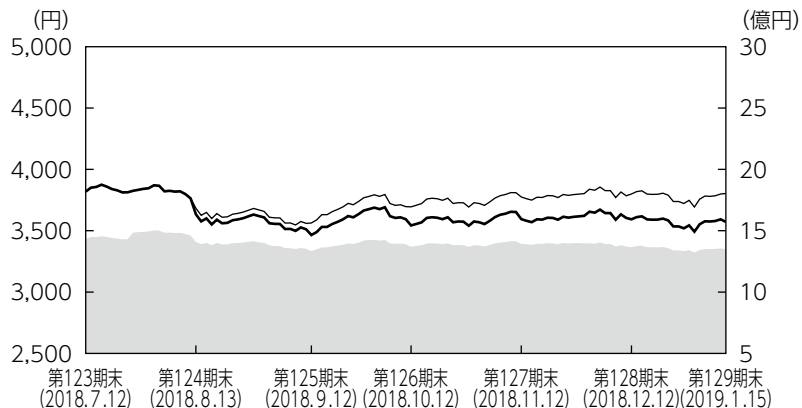
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第124期首： 3,819円  
 第129期末： 3,572円  
 (既払分配金225円)  
 騰落率： △0.4%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) - - 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

新興国債券市場は堅調に推移したものの、新興国通貨が対円で下落したこと等から基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ (JPY)	0.5%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.3%

(注) ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ (JPY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第124期～第129期 (2018年7月13日 ～2019年1月15日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	34円	
(投信会社)	(21)	(0.585)	
(販売会社)	(12)	(0.331)	
(受託銀行)	( 1)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	34	0.937	

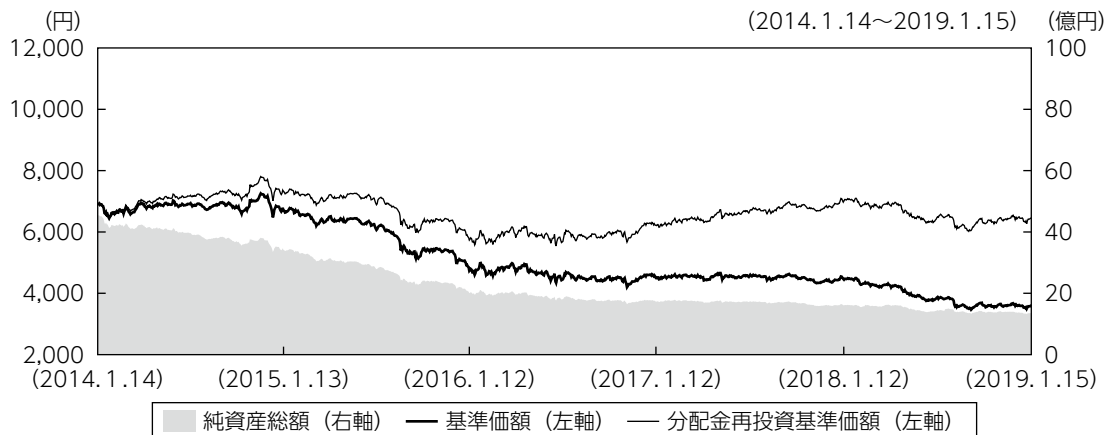
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年1月14日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年1月14日 期首	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月12日 決算日	2018年1月12日 決算日	2019年1月15日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 6,909	6,698	4,732	4,499	4,444	3,572
期間分配金合計 (税引前)	(円) -	600	600	600	600	525
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	5.9	△21.6	8.4	12.8	△7.9
参考指数の騰落率	(%) -	8.7	△18.2	10.8	13.3	△8.1
純資産総額	(百万円) 4,547	3,413	2,004	1,726	1,603	1,348

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJ PモルガンGB I - EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース、為替ヘッジなし) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

## 投資環境

新興国債券市場は、作成期前半には米トルコ間の政治的摩擦によるトルコ市場の不安定化などを受けて急落する場面もありましたが、作成期後半にかけてトルコ市場が落ち着く中、一部の新興国の不安定化が新興国全般に伝播するとの懸念が後退し、作成期を通じて見ると上昇しました。国別には、金融引き締めによるインフレ抑制への取り組みを発表したトルコが上昇しました。また、大統領選挙の結果を受けて先行きに対する懸念が後退したブラジルも堅調な推移となりました。

国内債券市場は上昇（利回りは低下）しました。作成期初から2018年10月にかけては、日銀の大規模な金融緩和の修正観測などを背景に、10年国債利回りは上昇基調で推移し、一時0.16%程度まで上昇しました。10月から作成期末にかけては、世界景気の減速懸念や米中貿易摩擦の悪化懸念などを受けて低下基調に転じ、通期では10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

為替市場では、米国とトルコとの政治的緊張をきっかけに、新興国通貨が全般的に下落する局面がありました。トルコ中央銀行による通貨安抑制を目的とした政策金利の引き上げが奏功し、持ち直した通貨もありましたが、下げ幅を回復するには至らず、作成期を通じて軟調な推移となりました。通貨別には、インフレ率の高止まりなどファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の脆弱さが懸念されたアルゼンチンペソなどが大きく下落しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J（JPY）の組入比率を原則として高位に維持し、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドへの投資も行いました。

### ●ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J（JPY）

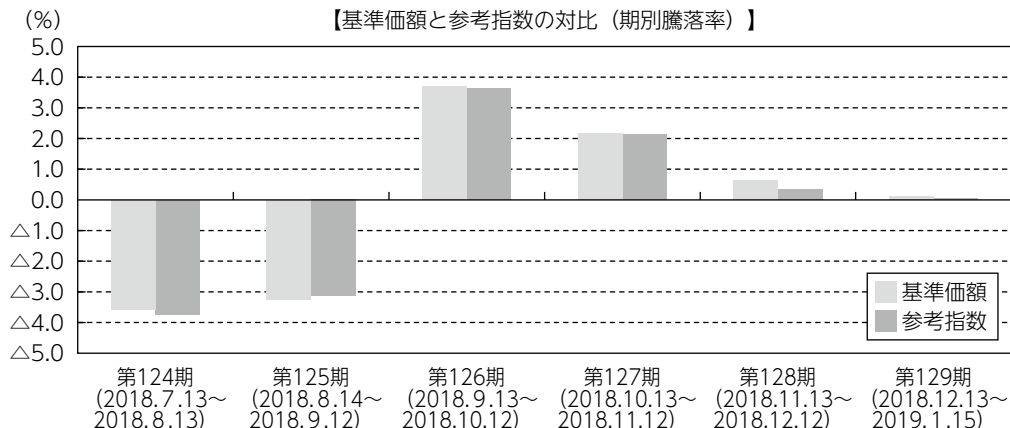
債券においては、欧州地域の新興諸国の中で相対的にファンダメンタルズが良好なポーランドの債券などを積極姿勢としました。通貨については、他の新興国通貨に比べて割安感があり、投資妙味が相対的に高いと見ているエジプトポンドやナイジェリアナイラを積極姿勢としました。

### ●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるNOMUR A-BPI総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

## 参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド (円ベース、為替ヘッジなし) の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2018年7月13日 ~2018年8月13日	2018年8月14日 ~2018年9月12日	2018年9月13日 ~2018年10月12日	2018年10月13日 ~2018年11月12日	2018年11月13日 ~2018年12月12日	2018年12月13日 ~2019年1月15日
当期分配金 (税引前)	50円	50円	50円	25円	25円	25円
対基準価額比率	1.36%	1.42%	1.39%	0.69%	0.69%	0.70%
当期の収益	50円	50円	50円	25円	25円	25円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,742円	1,757円	1,775円	1,816円	1,828円	1,838円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY) を高位に組入れることを基本とした運用を行います。

### ●ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY)

新興国のファンダメンタルズは、通貨安とそれに伴う輸入の減少・輸出の増加を通じて、相対的に良好な状態にあるといえます。債券については、政治の安定化が期待されるペルーや相対的に高い実質金利を有する南アフリカを積極姿勢とします。通貨については、相対的に高い金利収入が期待できるエジプトポンドおよびナイジェリアナイラなどを積極姿勢とします。

### ●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ポートフォリオのリスク特性をベンチマークに極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

## お知らせ

■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

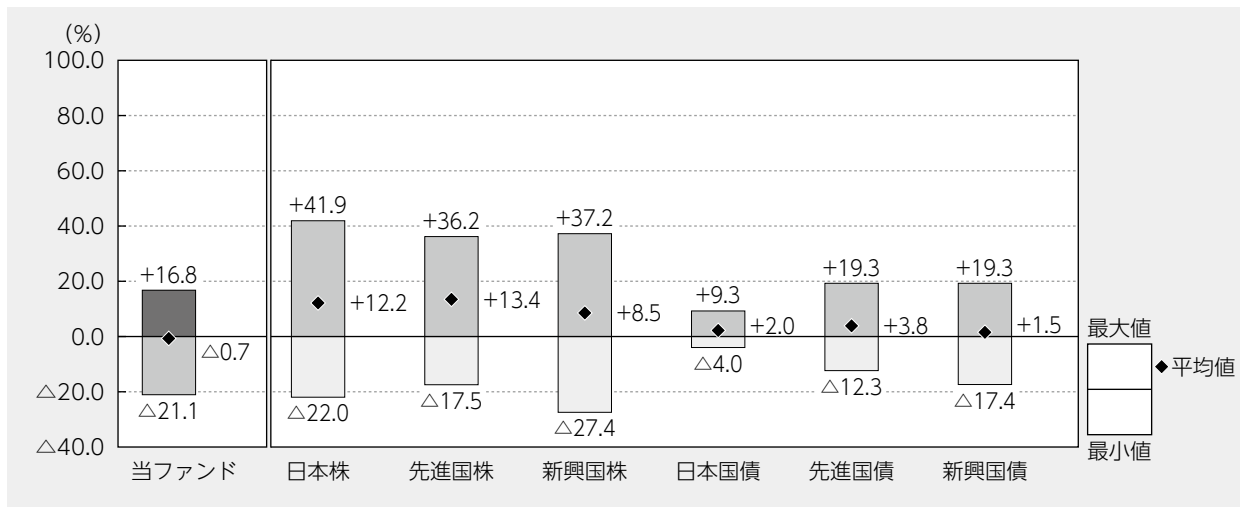
(2018年10月13日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年3月28日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>外国籍投資信託である「ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド」(JPY) 受益証券および国内籍投資信託である「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、エマージング諸国(新興国)の現地通貨建てソブリン債券等に実質的な投資を行います。</p> <p>外国籍投資信託への投資比率は、通常の状態においては90%以上をめどとします。</p> <p>投資対象ファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
分配方針	<p>決算日(原則として毎月12日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。毎月の決算時には、原則として利子配当等収益を中心に分配を行います。加えて、四半期(2月、5月、8月、11月)毎に売買益(評価益を含みます。)等から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年1月～2018年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年1月15日現在）

#### ◆組入ファンド等

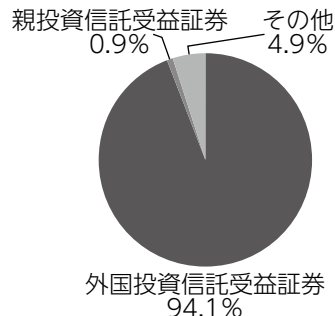
（組入ファンド数：2ファンド）

	第129期末
	2019年1月15日
ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J ( J P Y )	94.1%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.9
その他	4.9

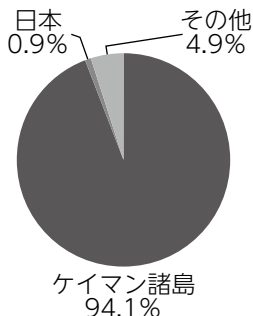
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

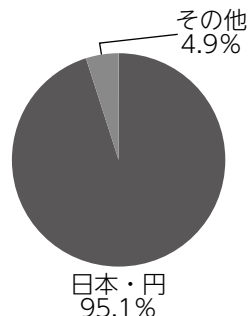
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

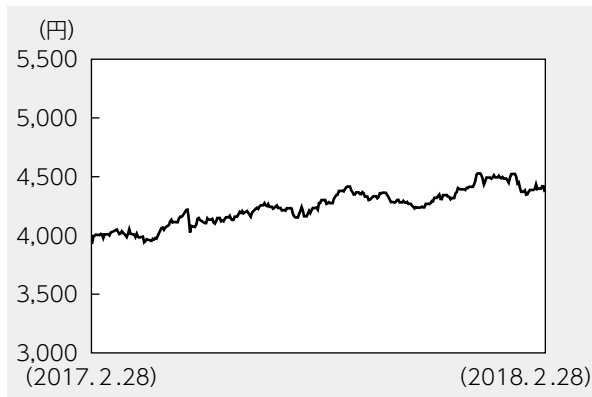
項目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2018年8月13日	2018年9月12日	2018年10月12日	2018年11月12日	2018年12月12日	2019年1月15日
純資産総額	1,409,268,628円	1,333,628,020円	1,370,014,344円	1,392,485,028円	1,365,742,473円	1,348,095,504円
受益権総口数	3,878,782,564口	3,848,663,656口	3,866,788,965口	3,873,357,010口	3,801,156,641口	3,774,429,033口
1万口当たり基準価額	3,633円	3,465円	3,543円	3,595円	3,593円	3,572円

（注）当作成期間（第124期～第129期）中における追加設定元本額は303,861,937円、同解約元本額は280,070,635円です。

## 組入ファンドの概要

【ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY)】 (計算期間 2017年3月1日~2018年2月28日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

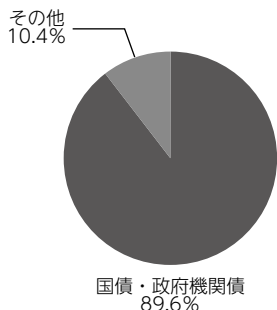
銘柄名	クーポン	償還日	通貨	組入比率 (%)
POLAND GOVERNMENT BOND	2.000%	2021/04/25	ポーランドズロチ	6.7
HUNGARY GOVERNMENT BOND	4.000%	2018/04/25	ハンガリーフォリント	4.3
POLAND GOVERNMENT BOND	5.750%	2022/09/23	ポーランドズロチ	4.0
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	9.000%	2040/01/31	南アフリカランド	3.8
MALAYSIAN GOVERNMENT	3.260%	2018/03/01	マレーシアリンギット	3.7
RUSSIA GOVT BOND - OFZ	8.500%	2031/09/17	ロシアルーブル	3.4
THAILAND GOVERNMENT BOND	3.625%	2023/06/16	タイバーツ	3.0
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	8.500%	2037/01/31	南アフリカランド	2.8
RUSSIA GOVT BOND - OFZ	7.700%	2033/03/23	ロシアルーブル	2.7
POLAND GOVERNMENT BOND	4.000%	2023/10/25	ポーランドズロチ	2.6
組入銘柄数				92銘柄

※比率は債券評価総額に対する各組入債券評価額の割合です。(CP等現金同等資産を除く。)

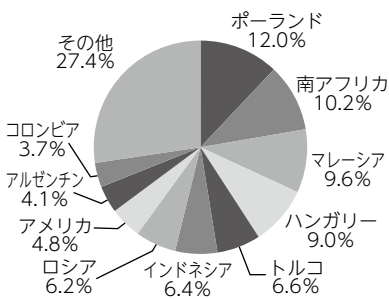
### ◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

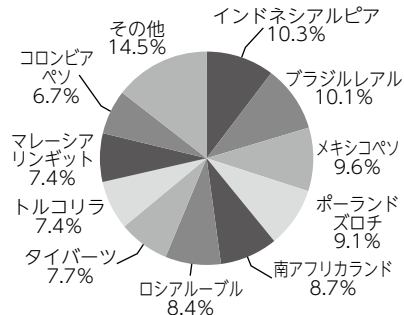
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



※1 比率は純資産総額に対する組入債券評価額の割合です。

※2 その他には現金およびCP等現金同等資産が含まれます。

※1 比率は純資産総額に対する組入債券評価額の割合です。

※2 その他には現金およびCP等現金同等資産が含まれます。

※比率は純資産総額に対する組入債券および為替取引等の割合です。

(注1) 基準価額の推移はピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。

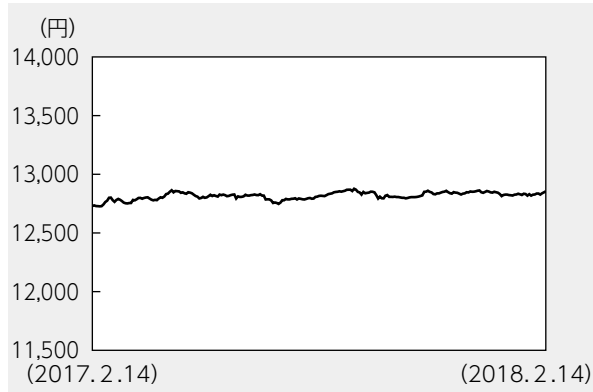
(注3) 国別配分、通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、運用会社であるピムコ社 (PIMCO-Pacific Investment Management Company LLC) のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

## 【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2017年2月15日～2018年2月14日)

## ◆基準価額の推移



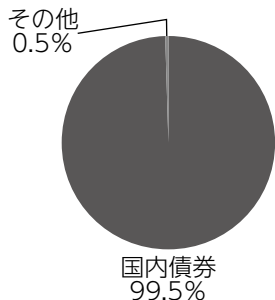
## ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 4回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1%
1 2 2回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1
1 1 7回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1
1 1 8回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
3 4 1回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
1 3 3回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
1 3 1回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
1 2 9回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
3 4 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
組入銘柄数	412銘柄	

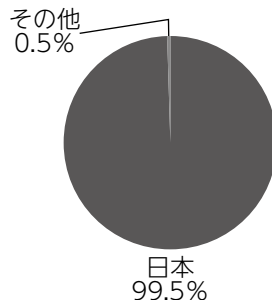
## ◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

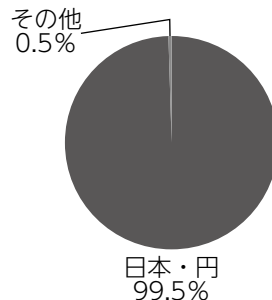
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## <当ファンドの参考指数について>

### ● J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド (円ベース、為替ヘッジなし)

J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 ( T O P I X ) 」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 ( 株東京証券取引所 ) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、( 株 ) 東京証券取引所が有しています。
- 「 M S C I コクサイ・インデックス」は、 M S C I I n c . が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c . に帰属します。また、 M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「 M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、 M S C I I n c . が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c . に帰属します。また、 M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「 N O M U R A - B P I 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「 F T S E 世界国債インデックス ( 除く日本 ) 」は、 F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「 J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、 J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

